2025年度(令和7年度)

事業計画

社会福祉法人育木会
薬園台・学びの保育園

(1) 2025年度事業計画 7つのテーマと内容

1. 中長期計画の見直し・ブラッシュアップを園長・主任とともに行う

▶園長・主任・法人にてロング会議を行い、現場視点も盛り込み、見なおし・ブラッシュアップを図る

2. 理念のさらなる浸透と7つの学びプログラムの実効性を高めるためにインナーブランディングをさらに深めていく

▶昨年実施した成果をふりかえり、さらに各園ごとに理念浸透と価値創造を研修も活用し深める

3. 共主体の推進を概念ではなく個人レベルでの落とし込みを図る

▶共主体を個人の活動レベルに落とし込んでいくために、上記2と同様研修も活かして年間通じて行う

4. 事務局の支援の方向性を、全方位の現場支援から、現場の自立と本質性を重視した支援への変更をスタートさせる

▶よりWHY(なぜ)に焦点を当てた支援を重視し、支援の取捨選択や仕組み化を開始する

5. 園に関わる人達／子ども・保護者・地域社会・入職希望者・入園希望者などへの発信を継続して進化させていく

▶法人主導のインスタとGAKUGAKU CLUBの推進、園主導の発信の質を高めていく

6. 継続戦略の推進をしっかりと果たしていく

▶継続している中長期の重点戦略についても断続化しないように、継続運営を実現させていく

7. 法人の経営計画と各園の事業計画を園長会にて確認していく

▶経営計画や事業計画の進捗を園長会にて確認し、ふりかえりを重視する

(2) 2025年度事業計画の取り組み内容とスケジュール

戦略	具体的な取り組み内容とスケジュール
1. 中長期計画の見直し・ブラッシュアップ	<ul style="list-style-type: none">▶8月末に園長・主任とのロングMtgを実施▶年内中に修正案を事務局や園長会にて検討▶1月の全園研修にて共有
2. インナーブランディングの進化と深化	<ul style="list-style-type: none">▶5-6月にて各園で研修を実施▶9月の全園研修にて外部識者を活用し、客観的な視点を取り入れる▶11-12月の全園混合の研修にてふりかえりを行う▶1月の全園研修にて総括を行う
3. 共主体を個人レベルに落とし込む	<ul style="list-style-type: none">▶各園インナーブランディング研修で個人のアクションプランを設定▶11-12月の全園混合の研修にてふりかえりを実施
4. 事務局の現場支援の方向性の変更	<ul style="list-style-type: none">▶6月までに支援業務の洗い出し▶年内中に一般化できる支援業務の仕組み化を実現▶仕組み化による支援パワーの創出を図り、重点支援の強化を進める
5. 関係者への発信の進化	<ul style="list-style-type: none">▶7月に1年間のふりかえりを行い、8月には次なる方針を設計する▶6月に各園の発信状況のふりかえり、7月に強化策を決定
6. 継続戦略の推進	<ul style="list-style-type: none">▶是々非々で各事案のふりかえりと推進案を検討
7. 法人経営計画と事業計画のマネジメント	<ul style="list-style-type: none">▶奇数月の園長会にて確認・ふりかえりを実施

学びの保育園保育ビジョン

▶大事にしたい保育

教えない保育／子どもの先回りをしていない保育／子どもが主体性を身につける保育

*主体性：物事に進んで取り組む力 主体性のある人：自身の判断によりやるべきことを見極め、目標に向かって効果的に行動できる人

▶大事にしたい保育の構造

個々の子どもの発達に合わせた子ども主体の体験学習型保育

▶大事にしたいねらいの背景

『子どもが自ら決める、子どもが自ら責任をもってやり切ろうとする、子どもが自ら気づく』

▶大事にしたい保育の姿勢

1. 保育のねらいを明確にする（一斉保育は、自由保育は、とかの枠組は取っ払う！）
2. 乳児も幼児も、ひとり一人をよく見て、気持ちは一旦受け止めてみる
3. 全てが学びの機会であると捉える
4. 子どもの成長を信じる
5. プロセスを重視する
6. 長短同根、長所に注目する
7. ポジティブストロークを大切にする
8. 肯定的に訊ねる
9. 命に直結するような危険には絶対的に対応する
10. 我々はファシリテーターであり、学びの7つのプログラムの推進者である

(3) 2025年度各園 事業計画 (薬園台・学びの保育園)

「一人ひとりが尊重される保育園」

今年度は子どもだけでなく、保護者、保育者みんながありのままを認め合えるような園を目指し、それぞれが違う新しいことに挑戦し、お互いを認め合いながら互いを高めていけるようにしていきたい。それが、一人ひとりが尊重されていることであり、さらに自己肯定感を育み、理念保育の実現に繋がると考える。

昨年度より「理念推進チーム」を作り、7つのプログラムの推奨をしながら期ごとに振り返りができたことで、互いの活動を認め合うことができ、意識の高まりを感じた。今年度も専門リーダーを中心に更なる意識の定着を図りたい。

乳児組は安心できる保育者と一緒に、幼児組は異年齢の仲間で興味のあることに夢中になって遊ぶことができるよう引き続き子どもの主体的な活動を大事にしていく。

地域活動は、地域に根付いた保育園を目指し、近隣の商店街を散策しながら更に交流範囲を広くもてたらと考える。

また、「夢くらぶ」を地域の方参加型にしてきたことで少しずつ地域に浸透し始め、参加希望者も増えている。このように自分たちの周りにいる人と関わりながら、子どもたちの社会性を育てていけるようにする。

(3) 2025年度各園 事業計画 (薬園台・学びの保育園 年間研修予定)

		計 画	実 施
4月	園内研修	保育のすり合わせ 子どもの権利条約について	
5月	カルテット研修	成長からみた玩具の遊び方、環境	
6月	救命救急研修	AED研修、アクションカード研修	
7月	フォックスブルー協力 不審者訓練	施設内 不審者対応訓練	
8月	園内研修	研修報告会	
9月	法人研修	法人研修	
10月	園内研修	学びのあそび体操 運動遊びについて	
11月	グループ実践研修	施設外不審者対応訓練	
12月	園内研修	地域交流、保護者支援について 嘔吐研修	
1月	法人研修	法人研修	
2月	園内研修	表現遊びについて 研修報告会	
3月	園内研修	保育のすり合わせ 研修報告会	

(4) 年間研修予定 (法人全体)

法人研修スケジュール(仮) 2025年4月～2026年3月

月	日	研修名	月	日	研修名
5	24	新川崎園インナーブランディング研修	11	4	6園交流理念研修
5	31	西巣鴨園インナーブランディング研修	11	13	6園交流理念研修
6	7	善行園インナーブランディング研修	11	18	6園交流理念研修
6	21	府中園インナーブランディング研修	11	27	6園交流理念研修
6	28	秋山園インナーブランディング研修	12	2	6園交流理念研修
7	5	薬園台園インナーブランディング研修	12	9	6園交流理念研修
7	11	看護師研修	12	12	主任・副主任研修
7	12	新入職研修	12	15	主任・副主任研修
8	23	調理室研修	1	17	全園研修
8	30	園長・主任研修	1	24	全園研修
9	8	全園研修9月	2	28	新入職研修